

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

## テレビ静岡 平成30年4月度 番組審議会概要

平成30年4月12日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

### — 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子  
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 五十住和樹 海野洋平(欠席)

### — 議 題 —

番組名 報道特別番組「ミライを守る防災」

放送日時 平成30年3月9日（金）15時50分～16時45分

制作著作 テレビ静岡

### — 番組内容 —

いつか来るといわれている東海地震や南海トラフ巨大地震に対して、私達はどんな準備ができるのでしょうか、特に小さな子供を持つ親はどうでしょう。

7年前に起きた東日本大震災によって、多くの問題点と解決策がわかってきました。津波や大きな揺れによって破壊される建物、失われる命、どうすればより自分たちの身を守れるのでしょうか。避難生活をするために、一体どんなものが必要なのでしょうか。災害によって心に大きな衝撃を受けた子供たちの精神的ケアは…。

我が家の備えは大丈夫なのか、専門家を招き浜松市で育てまっ最中の女優・加藤ローサさんと共に、“自分事”として主婦や子供たちに必要な家庭の防災を考えます。

— 審議概要 —

- ◎災害弱者である子供や母親をどう守るという視点は企画として良い。
- ◎伝える分野を子供と親に絞りお役立ち情報を際立たせた構成は明確で解りやすい。
- ◎キッズカフェを収録スペースとして使ったアイデアはキャッチーでよい試み。
- ◎防災のグッズや食品・知識の情報は、丁寧に紹介されていて役立つと思う。
- ◎防臭袋、スイーツ缶詰などがインターネットで購入できることは知らなかった。
- ◎東日本大震災で被災した保育園園長の話は、生々しく重みがあり聴き応えがあった。
- ◎時間が経つにつれ防災意識が低下しがちな若い女性世代に啓発する意義は大きい。
- ◎子育て世代以外でも、高齢者や学校など、別の分野に視点を広げる可能性を感じた。
- ◎背景で遊ぶ子供たちが元気すぎて騒々しく、大事な話が聞き取りにくかった。
- ◎スイーツの試食はもっと他の貴重な情報紹介の時間に割いた方がよかった。
- ◎東海地震で出る臨時情報の説明は、この番組で伝える必要がなかったのでは。
- ◎登場した一部の専門家の意見が短すぎてうまく伝えられていなかったのは残念。
- ◎子育て世代に特化するのはいいが、どの世代でも共通して見られる演出の工夫は必要。

◆審議後、民放連全国番審会議・4月改編・番組種別（2017年10月～18年3月）  
について局から報告した。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成30年5月10日（木）の予定です。